

若手会議に参加して

池田直輝

東京薬科大学生命科学部

私は、2018年1月30日から2月1日にかけて仙台市の秋保温泉で開催された酸素生物学・ダイニングコード合同若手会議に参加し、口頭発表を行いました。

基礎から臨床まで幅広い分野の研究者がおよそ100名参加していました。発表内容としては、酸化ストレスと細胞死に関するものが多く、細胞死に関する知識を深めるためにはとても有意義な学会でした。また、新たなセルシグナルの解析方法に関する報告もされており、特に、1細胞から放出されるサイトカインをリアルタイムで解析する方法が印象的でした。

私も口頭発表の機会を頂き、マクロファージと炎症制御に関する報告をさせて頂きました。結果として、思いがけずベストプレゼンテーション賞をいただくことができ、とても嬉しく思います。質疑応答の際には、ダイニングコード、酸素班、両班の方々からご質問、ご指摘を伺うことができ、とても有益な学会になりました。最後になりますが、貴重な発表の時間を頂いたことに心より感謝申し上げます。